

不祥事根絶のための行動計画

東広島市立龍王小学校
作成責任者 校長 小迫 賢志

【不祥事根絶に向けた本校の決意：行動基準】

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1 高い倫理観と豊かな人間性をもっている。 | 2 子どもに対する教育的愛情と教育に対する使命感をもっている。 |
| 3 専門性を発揮し、的確に職務を遂行している。 | 4 社会や子どもの変化に柔軟に対応できる。 |
- (決意) 私たちは、子どもを預かり、守り、育み、不祥事を起こしません。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	新たな歴史と伝統を創造する当事者意識と同様、不祥事根絶を他人事ととらえやすい。	○当事者意識を醸成するために実践的研修を実施する。 ○使命感・倫理観を高め職場の風土を健全にする。	○管理職及び各学年部等が分担し、研修方法を工夫する。 ○職員に意欲とやりがいを喚起する情報を提供する。 ○スクールカウンセラーによるアンガーマネジメント等の研修を実施する。	○毎月1回の不祥事防止委員会にて、研修方法等を検証する。 ○日常的なコミュニケーションと定期面談を実施する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	定期的な不祥事防止な実施が形骸化しやすい。	当事者意識が醸成される不祥事防止委員会を実施する。	○計画的な不祥事防止委員会を実施する。 ○職場及び不祥事の傾向を踏まえた研修を実施する。	○日常的なコミュニケーションと定期面談を実施する。
相談体制の充実	「体罰、セクシャル・ハラスメント相談窓口」等が形骸化しやすい。	「体罰、セクシャル・ハラスメント相談窓口」等を活性化する。	○「体罰、セクシャル・ハラスメント相談窓口」やスクールカウンセラー等を保護者へ周知する。 ○児童・教職員アンケートを実施する。	○相談状況及び児童・教職員アンケートの分析により改善を図る。